

諏訪実業高校と「地(知)のネットワーク連携協定」を締結

諏訪信用金庫は10月2日、諏訪実業高校と「地(知)のネットワーク連携協定」を締結しました。同校が行う教育の充実に向けた取り組みに、外郭団体として協力するもので、当金庫が保有する各部署のノウハウや知見を生かして高校生を支援します。マネープランや創業・起業、社会人マナーなどに関する授業への協力が計画されています。

地元の学校教育に対しては現在、当金庫は小学生には夏休みこども見学会の開催、中学生には職場体験学習の受け入れ、高校生には諏訪二葉高校の出前講座を行い、大学では信州大学と公立諏訪東京理科大学と連携協定を結び、出前講座やコーディネーター事業、技術相談会などを行っています。

諏訪実業高校は先に、松本大学、公立諏訪東京理科大学、諏訪市と学習カリキュラムの充実に向けたパートナーシップ協定を結び、さらに今回は民間企業や経営者団体、社会福祉法人と連携協定を結びました。当金庫はこうした積極的な取り組みを支援し、次代を担う人材育成に尽力します。

協定締結式は諏訪市のRAKO華乃井ホテルで、他団体とともに行われました。

